

報 告 1

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について、別紙のとおり報告します。

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について

資料4

多様な交通手段の連携や、まちなかでの交通環境整備を進めながら、公共交通の利便性の向上を目指します						評価
①公共交通の利便性に満足している市民の割合	現況(2017年) 41.6%	➡	現在(2024年) 47.6%	➡	目標(2028年) 47.0%以上	達成
誰もが愛着のある草津市に末永く暮らしていくために、公共交通サービス水準の維持向上を目指します						評価
②公共交通の運行路線数	現況(2017年) 48路線	➡	現在(2024年) 55路線	➡	目標(2028年) 48路線以上	達成
健幸で人や環境にもやさしい生活形成を推進していくため、自家用車に過度に頼らない意識の向上を目指します						評価
③運転免許証保有率	現況(2017年) 66.6%	➡	現在(2024年) 66.6%	➡	目標(2028年) 66.6%以下	達成

基本施策1 多様な交通手段を織りなし、移動を円滑につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール											実施主体	R5 取組実績	(参考)R5 取組予定	
	(前期)				(中期)				(後期)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
施策1 持続可能な公共交通網の形成															
(1)路線バスやコミュニティバス路線の再構築 ・複数事業者間で重複する路線の再編 ・地域の需要に対応したコミュニティバスの再編													・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者	・動態調査、アンケート調査、地域とのワークショップを実施し、まめバス「笠縫東常盤線」、「山田線」、「商店街循環線」の再編を行った。 (令和6年4月1日より新路線にて運行開始)[市]	・動態調査、地域とのワークショップに基づき、コミュニティバスの再編の検討する。[市]
(2)バスの路線確保に向けた支援の検討 ・基幹路線などのバス路線への一部補助の検討 ・公共交通機関の利用促進を図る支援の検討														・地域間幹線系統路線であるバス路線「近江大橋線」を維持するため、補助金を交付した。(1,039千円)[市] ・地域間幹線系統「近江大橋線」やデマンドタクシー「まめタク」について引き続き支援を実施した。(近江大橋線 1,672千円、まめタク487千円)[県] ・令和6年事業年度(R5.10.1～R6.9.30)については、バス路線「近江大橋線」を対象とする地域間幹線系統確保維持計画を認定した。加えて、まめバスの6路線(笠縫東常盤線・山田線・上笠平井循環線・商店街循環線・草津駅医大線・草津駅下笠線)を対象とする地域内フィーダー系統確保維持計画を認定する。[国]	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、公共交通機関の利用促進を図る支援を引き続き検討する。[市] ・基幹路線であるバス路線「近江大橋線」を維持するため、補助金を引き続き交付する。[市] ・地域間幹線系統「近江大橋線」やデマンドタクシー「まめタク」について引き続き支援を実施する。[県] ・令和5年事業年度(R4.10.1～R5.9.30)については、バス路線「近江大橋線」を対象とする地域間幹線系統確保維持計画を認定した。加えて、まめバスの6路線(笠縫東常盤線・山田線・上笠平井循環線・商店街循環線・草津駅医大線・草津駅下笠線)を対象とする地域内フィーダー系統確保維持計画を認定する。[国]
(3)ICTの活用や自動運転技術の導入検討 ・スマートフォンのGPS機能を活用した効率的なタクシー配車アプリの活用 ・バス等の自動運転技術の活用検討														・ICT活用として、コミュニティバスへの「検索・乗降システム」の導入について検討を行い、令和6年10月導入に向けて調整を行った。 [市] ・タクシー配車アプリ「GOアプリ」を活用した。[タクシー事業者]	・「MaaS」等の事例研究を行い、ICT活用等を検討する。[市] ・引き続きタクシー配車アプリ「GOアプリ」を活用する。[タクシー事業者]
施策2 連続性のある道路環境整備															
(1)公共交通による駅へのアクセス強化 ・主要交差点周辺の道路改良 ・信号機の運用見直しの検討													・市 ・県 ・国 ・交通管理者		・引き続き交通流の監視を行い、必要に応じて運用改善を検討する。[交通管理者]
(2)駅前ロータリーの機能性の向上 ・駅前ロータリーの機能の見直し ・自家用車の駅前ロータリーへの進入規制、誘導の検討														・JR南草津駅東口におけるバス待ち環境改善のため、バスシェルトアーの設置について実施に向けた設計を行った。[市] ・JR南草津駅周辺の交通対策について、バス待ち環境改善等の短期対策と東西ロータリーの改修等の中長期的な対策について、地域や関係機関等と調整を進めた。[市] ・「草津市バリアフリー基本構想」の重点整備地区内での事業の進捗管理を行い、関係機関にフィードバックした。[市] ・重点整備地区内のバリアフリー化整備のための工事を実施しました。(延長390m)[市]	・JR南草津駅周辺の交通対策について、社会実験結果を踏まえて、バス待ち環境改善等の短期対策と東西ロータリーの改修等の中長期的な対策について、地域や関係機関等と調整を進める。[市]
(3)鉄道駅周辺のバリアフリー化の推進 ・重点整備地区内での段差の解消、誘導用ブロックの設置等														・「草津市バリアフリー基本構想」の重点整備地区内での事業の進捗管理を行い、引き続き当該基本構想の推進を図る。[市]	
(4)自転車走行空間の整備 ・既存道路空間を活かした自転車走行空間の整備														・自転車の安全で安心な利用環境を創出するため、自転車ネットワーク計画の進捗管理を行い、自転車安全安心利用促進委員会で報告を行った。[市]	・自転車の安全で安心な利用環境を創出するため、自転車ネットワーク計画の進捗管理を行い、必要に応じて関係部署と協議、検討する。[市]

施策3 鉄道駅における乗り継ぎ利便性の強化						
(1)鉄道とバスとの乗り継ぎ強化 ・鉄道との乗り継ぎを考慮した路線バスダイヤの調整	検討・準備	実施	継続	・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者	・まめバス「笠縫東常盤線」、「山田線」、「商店街循環線」の再編時にJRとの乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定を行った。[市]	
(2)公共交通総合案内情報の整備 ・鉄道駅のデジタルサイネージ等を活用した公共交通総合案内情報の整備 ・公共交通ガイドブックの発行 ・草津市観光案内所における公共交通情報案内	検討・準備	実施	継続		・草津市観光案内所（JR草津駅改札前）にて観光ボランティアガイドが常駐し、来訪者へ交通情報および観光情報を提供した。[市]	・草津市観光案内所（JR草津駅改札前）にて観光ボランティアガイドが常駐し、引き続き来訪者へ交通情報および観光情報を提供する。[市]
(3)交通系ICカードの導入検討 ・ICOCA等の交通系ICカードの導入検討	検討・準備	実施			・コミュニティバスへの交通系ICカード（ICOCA）の導入について検討を行い、令和6年10月導入に向けて調整を行った。[市] ・交通系ICカードの導入について検討した[バス事業者] ・交通系ICカードでの精算方法の導入を令和6年度中に実施できるように計画を行った。[タクシー事業者]	・まめバス全車両への交通系ICカードICOCAの導入を検討する。[市] ・引き続き交通系ICカードでの精算方法の導入を検討する。[タクシー事業者]
施策4 鉄道駅周辺での自転車利用環境の整備						
(1)鉄道駅周辺での自転車駐車スペースの環境整備 ・需要に対応した駅周辺駐輪場の整備	検討・準備・実施			・市 ・鉄道事業者	・草津駅西口自転車駐車場建替工事を開始した。また、一時的に草津駅西口第5自転車駐車場を整備し、令和5年7月より供用を開始した。[市]	・JR草津駅西口自転車駐車場建替工事実施設計に基づき、草津駅西口自転車駐車場建替工事を行う。また、一時的に草津駅西口第5自転車駐車場を整備し、自転車駐車スペースを確保する。[市]
(2)シェアサイクル・レンタサイクル事業の展開 ・シェアサイクル、レンタサイクル事業の展開	検討・準備	実施	継続		・南草津駅西口第二自転車駐車場の整備検討にあたり、レンタサイクルの導入可能性について、関係機関と協議を行った。[市] ・駅りんくん草津店の運営を継続して実施。[鉄道事業者]	・需要調査結果等を踏まえて、再度シェアサイクル・レンタサイクルの導入手法について調査、検討を行う。[市]
(3)放置自転車の削減対策 ・放置自転車の撤去 ・啓発周知看板の設置	実施・継続				・JR草津駅およびJR南草津駅周辺における自転車等放置禁止区域において、放置自転車等の撤去を実施した。（撤去184台、返還96台）[市]	・JR草津駅およびJR南草津駅周辺における自転車等放置禁止区域において、引き続き放置自転車等の撤去を実施する。[市]

基本施策2 まちに愛着と誇りを抱き、地域の維持・活性化につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール											実施主体	R5 取組実績	(参考)R5 取組予定	
	(前期)				(中期)				(後期)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
施策1 まちづくりと連携した交通ネットワークの確立															
(1)サイクル＆バスライドの環境整備の推進 ・バス停留所近辺への自転車駐車場の整備 ・サイクル＆バスライドの利用促進												・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民	・公共施設や商業施設等を拠点としたサイクル＆バスライドの整備手法等について検討した。[市]	・サイクル＆バスライドの整備手法等について引き続き検討する。[市]	
(2)バス交通不便地等の新たな移動手段の導入検討 ・地域と連携した新たな移動手段の検討													・まめタク「草津駅山寺新田線」の本格運行を開始した。また、土曜日運行と増便の検討を行い、令和6年4月1日からの開始に向けた調整を行った。[市] ・まめバス「笠縫東常盤線」の再編に併せ、まめタク「下寺津田江線」、「志那吉田線」、「芦浦上寺線」、「集新堂線」の運行の検討を行い、令和6年4月1日からの開始に向けた調整を行った。[市] ・まめバス「山田線」の再編に併せ、まめタク「北山田線」、「不動浜線」、「木川線」の運行の検討を行い、令和6年4月1日からの開始に向けた調整を行った。[市] ・まめバス「商店街循環線」の再編に併せ、まめタク「青地笠井線」を東草津地域への延伸の検討を行い、令和6年4月1日からの開始に向けた調整を行った。[市]	・「まめタク」草津駅接続路線について、利用状況等に基づき、令和5年11月30日からの本格運行移行を目指す。[市] ・「まめタク」について、地域からの要望に基づき、休日運行や増便を検討する。[市] ・まめバス「商店街循環線」の一部の便について、利用状況等を踏まえ、令和5年10月1日からの本格運行移行について判断する。[市]	
施策2 福祉分野等と連携した移動手段の充実															
(1)生活支援サービスの充実 ・福祉有償運送事業の展開 ・移動支援事業の充実、福祉タクシー運賃等助成事業の実施												・タクシー事業者 ・市民 ・事業所	・市内3事業者が福祉有償運送事業を実施した。[市] ・新規福祉有償運送事業者について審議を行った。(継続審議中)[市] ・障害がある方の積極的な社会参加を促進するため、移動支援事業、福祉タクシー運賃等助成事業を実施した。[市]	・市内3事業者において、福祉有償運送事業を継続する。[市]	
(2)地域の主体的な助け合いの環境づくりの推進 ・地域支え合い運送の取組み支援													・市社会福祉協議会を通して、日常生活に支援が必要で移動が困難な人を対象とした住民主体による地域支え合い運送の取組支援を実施。(学区の社会福祉協議会やまちづくり協議会が主体となり、志津南、山田、老上・老上西、南笠東学区で継続実施。)[市]	引き続き、事業の継続と取組の拡大に向けた支援を行う。[市]	
施策3 広域的なバス路線の充実															
(1)隣接市と連携したバス路線網の強化 ・基幹軸となる路線バスの維持、確保 ・草津栗東守山くるとバスの運行の充実												・市 ・バス事業者 ・県	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、くるとバスの運行を維持した。[市] ・草津駅から栗東方面に向かうバスを運行した。[バス事業者]	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、くるとバスの運行を継続する。[市]	
(2)大津湖南エリアの公共交通の充実 ・施設間の循環等を含むバス路線の再編検討 ・輸送力の高い連節バスの活用検討													・南草津駅から瀬田方面に向かうバスを運行した。[バス事業者] 南草津駅周辺交通対策検討会を開催し、南草津駅周辺の交通渋滞対策や利用者のバス待ち環境の整備等を進めた。[県]	・南草津駅周辺の交通渋滞対策や利用者のバス待ち環境の整備等を進めるため、南草津駅周辺交通対策検討会を開催する。[県]	

基本施策3 自家用車に過度に頼らない意識を育み、健幸で明るい未来につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール											実施主体	R5 取組実績	(参考)R5 取組予定	
	(前期)				(中期)				(後期)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
施策1 モビリティ・マネジメントの推進															
(1)地域や事業所等でのモビリティ・マネジメントの推進 ・地域でのワークショップ等の開催 ・事業所モビリティマネジメントの促進 ・大学と連携した公共交通等の利用促進												・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民 ・事業所	・地域や高齢者サロンにおいて、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの利用方法等の説明を行い、公共交通の利用促進を図った。(5回)[市] ・事業所に対して、モビリティマネジメントの促進を行った。(1回)[市]	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、引き続き公共交通の利用促進を図る。[市] ・事業所に対して、モビリティマネジメントの促進を行う。[市]	
(2)小学校等における交通環境学習の推進 ・小学校等におけるバスや電車の乗り方教室等の開催 ・課外授業等における路線バス等や鉄道の利用促進 ・交通安全教室やバリアフリー教室との連携													・県と協働で小学校でバスや電車の乗り方教室を開催した。(5回)[市] ・市と協働して、小学校(8校)で交通環境学習(バスや電車の乗り方指導等)を実施した。[県] ・県の依頼の元、バスの乗り方教室の開催に協力した[バス事業者]	・小学校において、バスや電車の乗り方教室を引き続き開催する。[市] ・引き続き、市と協働して交通環境学習(バスや電車の乗り方指導等)を開催する。[県]	
(3)公共交通に関する情報提供の充実 ・市の広報誌やホームページの活用 ・公共交通ガイドブックの作成 ・イベント等での公共交通情報の提供													・路線再編に併せて既存のまめバス・まめタクマップを見直すとともに、令和6年4月1日から新たに運行を開始した学区のまめタクマップを作成した。[市]	・「まめタク」および「まめバス」のマップを統一できないかを検討し、必要に応じて双方のマップを見直す。[市]	
(4)特徴を活かした連節バスの有効活用 ・イベント開催時等での臨時運行 ・大津湖南エリアでの活用検討															
施策2 いつでも誰でもが利用しやすい公共交通環境の整備															
(1)公共交通のバリアフリー化の推進 ・低床式車両(低床バス、ユニバーサルデザインタクシー)の充実 ・乗務員のバリアフリー研修の推進 ・交通案内情報の多言語化												・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者	・コミュニティバスに低床式車両を1台、リフト付車両を1台導入した。[市]	・運行する車両の劣化状況等を確認しつつ、車両の更新等に当たっては、低床式車両の導入を検討する。[市]	
(2)バス待ち環境の整備検討 ・上屋やベンチの設置等の検討													・JR南草津駅東口におけるバス待ち環境改善のため、バスシェルの設置について実施に向けた設計を行った。[市]	・JR南草津駅東口におけるバス待ち環境改善のため、バスシェルの設置について実施に向けた設計を行う。[市]	
(3)バスロケーションシステムや配車アプリの導入検討 ・バスロケーションシステムの導入促進 ・スマートフォンのGPS機能を活用した効率的なタクシー配車アプリの活用													・コミュニティバスの運行内容をGoogleマップで検索できるようにした。[市] ・バスロケーションシステムを運用した[バス事業者] ・令和6年3月にタクシー配車アプリ「GOアプリ」を30台導入した。[タクシー事業者] ・タクシー配車アプリ「GOアプリ」を活用した。[タクシー事業者]	・引き続きタクシー配車アプリ「GOアプリ」を活用する。[タクシー事業者]	
(4)交通系ICカードの導入検討													・コミュニティバスへの交通系ICカード(ICOCA)の導入について検討を行い、令和6年10月導入に向けて調整を行った。[市] ・交通系ICカードの導入について検討した[バス事業者] ・交通系ICカードでの精算方法の導入を令和6年度中に実施できるように計画を行った。[タクシー事業者]	・引き続き交通系ICカードでの精算方法の導入を検討する。[タクシー事業者]	
(5)来訪者等の公共交通利用の促進 ・観光パンフレット等への公共交通情報の掲載 ・1日フリーパス等の企画乗車切符の販売検討													・草津市観光物産協会にて作成している観光パンフレットに公共交通機関の情報を掲載した。[市] ・「関西MaaS」アプリにて、宇治・大津紫式部めぐりバスを、草津駅までのご利用が可能な形で2024年3月25日(月)～12月29日(日)まで発売。[鉄道事業者] ・ラッピング列車「びわこおおつ 紫式部とれいん」の運行を開始し、上郡～米原間での運行を実施。[鉄道事業者] ・スマホアプリを用いた1日フリーパスを販売した。[バス事業者] ・ここ滋賀と連携して観光タクシー割引クーポンを作成した。(7月～11月)[タクシー事業者] ・タクシー利用者に対し、ポイントカード等の導入を検討するにあたり、費用対効果等の分析を行った。[タクシー事業者]	・引き続き観光パンフレット等に公共交通機関に関する情報提供を行う予定である。[市] ・利用者に対し、ポイントカード等の導入を検討する。[タクシー事業者]	

施策3 高齢者が運転免許証を返納しやすい環境づくり													
(1)交通安全教室の充実 ・交通安全教室等の開催 ・交通安全シニアカレッジの開催 ・交通安全に関する情報提供	実施・継続										・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民 ・事業所 ・県 ・交通管理者	・交通安全指導員「わかばチーム」により、幼児や児童または高齢者を対象とした交通安全教室を開催した。(52回)[市] ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、交通安全シニアカレッジを開催した。[市] ・運転技能自動評価システムやVR横断歩道シミュレーター等を用いた参加体験型の交通安全教室を実施した。[交通管理者]	・交通安全指導員「わかばチーム」による交通安全教室を引き続き開催する。[市] ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、交通安全シニアカレッジを開催する。[市]
	実施・継続											・認知機能検査の結果に基づく個別聴取を実施する等、免許更新業務を通じて高齢運転者の交通事故防止の推進を図った。[交通管理者]	・「3法よし運転」の中地、教育を引き続き行う。[交通管理者]
(2)高齢運転者の事故防止の促進 ・免許更新時の認知機能検査の実施 ・高齢運転者の事故防止に向けた情報提供	実施・継続										・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民 ・事業所 ・県 ・交通管理者	・運転免許証自主返納高齢者への支援サービスの充実に向けて、まめタクでの割引制度について関係機関と協議を行った。[市] ・滋賀県と免許返納事業での連携施策について、協議を行った。[鉄道事業者] ・滋賀県バス協会主催での自主返納者割引券を配布した。[バス事業者] ・運転免許証自主返納者への運賃割引を引き続き実施した。[タクシー事業者] ・免許更新手続等の機会を通じ、高齢運転者に対して「お試し自主返納」制度の周知を行い、運転免許証自主返納の促進を図った。[交通管理者]	・引き続き運転免許証自主返納者への運賃割引を実施する。[タクシー事業者] ・自主返納を迷っている人向けに「お試し自主返納」制度を取り入れる(R5. 5～)[交通管理者] ・自主返納高齢者支援制度の継続する。[交通管理者]
	実施・継続												
(3)運転免許証自主返納高齢者支援制度の充実 ・高齢者運転免許証自主返納者支援サービスへの協賛店の協力依頼 ・運転免許証自主返納高齢者への支援サービスの充実 ・自主返納意識の向上に向けた広報啓発の強化	実施・継続										・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民 ・事業所 ・県 ・交通管理者		
	実施・継続												